

# RID2660 地区国際奉仕委員会 NEWS LETTER

2020-21 年度 第 2 号



ロータリーは機会の扉を開く



## ご挨拶

**2020-21 年度 地区国際奉仕委員会  
副委員長 北井 雄大**

平素は地区国際奉仕委員会の活動にご理解を賜り、誠にありがとうございます。  
コロナ禍にて、みなさまのご苦勞をお察し、心よりお見舞い申し上げます。

さて、NEWS LETTER 第 1 号において、当地区国際奉仕委員長の木下より案内がありました通り、10 月 17 日（土）に「クラブ国際奉仕委員長会議」を開催いたしました。会議内容としまして、今年度の新国際奉仕委員長になったものの、どのように活動すればよいか分からない、何か国際活動のヒントが欲しい等、今更聞けない内容を、地区のみんなで聞いてみよう！というものでした。これまでに国際奉仕委員長を経験された方々に、ご自身の活動経験をお話し頂けたので、きっと参加された方々にとって有意義な時間になったと考えております。

そうは言ってもこのコロナ禍で、すぐに海外に行って国際奉仕活動を行うのは現実的ではないでしょう。しかしながら、コロナ禍だからと言って全く国際奉仕活動を行えないわけではなく、例えば既存の姉妹クラブとオンラインで交流を行い、お互いのクラブをもっとよく知る機会にするとか、アフターコロナのために、今から海外でのニーズを調査する機会と捉えるなど、もっと前向きに考えても良いのではないのでしょうか。

このニュースレターが、みなさまの今後の国際奉仕活動の一助になれば幸いです。

上述のクラブ国際奉仕委員長会議とは別に、今回は NEWS LETTER 第 2 号という形で、吹田西 RC の小林 哲さんと榎原 一滋さんにお話を伺い、お二人の国際奉仕活動をみなさまにご紹介いたします。

2020 年 10 月 17 日（土）

に開催いたしました、  
「クラブ国際奉仕委員長会議」  
は皆様のお陰をもちまして  
無事に終了いたしました。

当日の様子は、地区ホームページ  
よりご視聴いただけます。

「第 2660 地区ホームページ」  
<https://www.ri2660.gr.jp/ac/c10/>



NEWS LETTER 2020-21 年度 第 2 号



(小林 哲 会員)



(榎原 一滋 会員)

### 吹田西ロータリークラブ

#### <例会場>

新大阪江坂東急 REI ホテル 3 階  
大阪府吹田市豊津町 9-6  
TEL : 06-6338-0109 (代表)  
ビジターフィー : 4,000 円

#### <例会日時>

毎週月曜日 18 時~19 時  
会員数 : 46 名  
(2020 年 11 月 1 日現在)

### 〔活動内容〕

吹田西 RC とナコンパノム県の関わりは 2007 年 6 月に WCS(世界社会奉仕)として Banchanoot School(バンチャノデ学校)へ RID3340 ナコンパノム RC(以下 NPRC)とコーンリバー RC(NPRC の子クラブ)との共同で冷却装置付き飲料水浄化装置設置事業を行いました。これがクリーンウォータープロジェクトの始まりでした。

以降

2007-08 年度は RID2660 第 2 組千里 RC も参加し NPRC と共同事業で 2 校

2008-09 年は千里 RC・NPRC と共同で 2 校

2009-10 年度は吹田西 RC30 周年記念事業としてマッチンググラント(MG)を  
使ったの千里 RC・NPRC と共同で 9 校

2010-11 年度は千里 RC・NPRC と共同で 2 校

2013-14 年度は地区補助金を使って NPRC と共同で 2 校

2014-15 年度、2015-16 年度は共に 1 校、CWP に加えてクラブの  
歯科医師の出前授業として歯磨き・口腔衛生の指導を実施

2016-17 年度は 1 校

2017-18 年度、2018-19 年度、2019-20 年度は共に地区補助金を使って  
NPRC と共同で 2 校ずつ、合計 27 校に CWP を実施してきました。



### 〔事業紹介〕

実施国・実施地域 タイ国 ナコンパノム県

活動内容 クリーンウォータープロジェクト(CWP)

学校への冷却装置付き飲料水浄化装置設置事業

事業予算 ¥611,820

(地区補助金 ¥ 305,910 クラブ拠出金 ¥ 305,910)

Naduapittayakhom School(ナデウピタヤコン学校)と

Thannamjai School(タランナムジャイ学校)の 2 校

補助金 地区補助金 DG

### 〔活動目的〕

タイ国の貧困地帯と言われる東北部のナコンパノム県は今なお上下水道工事が十分に進んでおらず、いまだに井戸水が雨水に頼っていて健康を損ね、継続して学校に通うことが出来ない子供たちに健康で元気よく生活できるように、冷却装置付き浄水器の設置を行っています。水と衛生はロータリーの重点分野の一つです。きれいな飲料水で子供たちが喜んで学校に来るようになり、近隣の住民にも利用していただき、病気も減り、またコロナ禍予防にもつながると思います。

**〔現地での支援 RC・支援者〕** RID3340NPRC(友好クラブ)・元タイ王国国防省海軍次官キアティサク提督

**〔実施日〕** 2020年11月施行予定

(地区補助金はクラブ口座へ入金の上、タイへ送金済み)

### 〔今後の事業展開〕

ナコンパノムにはまだまだ多くの支援を待っている学校があります。CWPを実施した年は必ず現地を訪れ装置の確認をし、子供たちと触れ合い無邪気な笑顔を見て友好を深めてきておりますが、今年度は新型コロナウイルス感染症の世界的流行で現地に出向くことが難しくなっております。現地のNPRCの協力がなければ持続できませんので、これからも友好クラブとしてよい関係を続けながら、他の支援も模索して行きたいと思っております。



### 取材後に小林会員に質問致しました。

北井 雄大 2020-2021 年度 地区国際奉仕委員会 副委員長（以下 北井）：

なぜタイの郊外で活動するナコンパノム RC と友好クラブ関係を結んで、田舎町で国際奉仕活動をしようと考えたのですか？

小林 哲 2012-13 年度 地区国際奉仕委員会 委員長（以下 小林）：

実はタイでの活動前はスリランカで国際奉仕活動を行ってきました。その後、我がクラブのチャーターメンバーの他界や会員の入れ替わりもあり、遠方であるスリランカでの活動に無理が生じ始めました。そこで、クラブ内でフォーラム等を重ね、もっと近隣国であるタイなどで友好クラブを作り、活動するのが望ましいとの結論に至ったのです。

しかし、タイの都市部だと日本の RC と複数提携している RC が多く、我がクラブがその他大勢となってしまう面白みに欠けるので、出来るだけ郊外の田舎町で友好クラブを探しました。

北井：なるほど。その田舎町で友好クラブはすぐに見つかりましたか？

小林：運よく、現地のコーディネーター兼通訳をしてくれる人が見つかり、ナコンパノム県のナコンパノム RC と友好クラブ関係を締結することが出来ました。海外で奉仕活動を行う上で重要なことは、自クラブにおいて国際奉仕委員長のような強い推進力をもって活動を遂行する中心人物がいることと、現地でのコーディネーター兼通訳をしてくれる人を見つけることです。

この両者が揃わないと、なかなか前に進みません。

北井：具体的にどのような活動をされたのですか？

小林：現地を調査した結果、タイは元々飲み水の供給が少なく、現地の人々はお腹を壊すことが多いことが分かりました。そこで、ナコンパノム県において、冷却装置付き浄水器を 27 の小学校に寄贈しました。ちなみに一装置につき約 30 万円かかります。我がクラブは現地にお金や物資を送るだけの活動はせず、必ず 10 名前後の会員が現地に行き物資を贈呈します。やはり、現地に自分で行き、自分の足でその土地を歩き、自分の耳でニーズを聞き出し、自分の目で調査する、ということが大切です。

北井：まさに調査・発掘の精神を体現されているわけですね。  
ところで、国際奉仕活動を行う上でキーマンとなる現地のコーディネーター兼通訳をしてくれる人を探すにはどうしたらいいですか？

小林：やはり現地の事情に明るい人に探してもらうのが一番です。ビジネス等で現地によく行く会員に協力してもらうのが良いでしょう。繰り返しますが、活動を強い推進力をもって遂行する自クラブの中心人物と、現地のコーディネーター兼通訳は不可欠な存在です。まずはこの両者を見つけることが最優先です。

北井：大変貴重なお話をありがとうございました。



◆◆◆◆◆ロータリー国際奉仕 豆知識◆◆◆◆◆

【GSE (Group Study Exchange) 研究グループ交換プログラム】

このプログラムは 1965 年から 2013 年まであった、ロータリーのプログラムの 1 つで、原則として異なる国の 2 つのロータリー地区がペアを組み、お互いにロータリアンをリーダーとする専門職業人のチームを派遣しあい、相手国の諸制度やホスト家庭の生活様式を研究したり、体験して、相互理解を深めようとするものでした。

当プログラムについては 1965 年以来、ロータリー財団から交換補助金として各地区に予算が割り当てられていました。

その後、2013-2014 年度から始まったロータリー財団未来の夢計画（新補助金モデル）への移行に伴い

VTT「Vocational Training Team（職業研修チーム）」と名称・プログラム内容を変え、現在も実施されています。

< 発刊 >

2020-21 年度

RID2660 地区国際奉仕委員会

- |      |                     |
|------|---------------------|
| 委員長  | 木下 基司（吹田西）          |
| 副委員長 | 宮崎 正人（高槻東）          |
| 副委員長 | 北井 雄大（大阪平野）         |
| 委員   | 津田 和義（大阪北梅田）        |
| 委員   | 徳上 洋之（大阪リバーサイド）     |
| 委員   | 國司 真相（池田くれは）        |
| 委員   | 加藤 正雄（大阪大淀）         |
| 委員   | 豊田 勝（大阪西南）          |
| 委員   | 津村 昌明（茨木西）          |
| 委員   | 西本 恵美子（高槻）          |
| 委員   | 中根 三恵子（大阪ユニバーサルシティ） |

■ 委員会 毎月第 1 木曜日(原則) ガバナー事務所にて開催 ■

News Letter に関する お問い合わせ

国際ロータリー第 2660 地区 ガバナー事務所  
〒541-0052 大阪市中央区安土町 1-5-11 トヤマビル東館 6F  
TEL : 06-6264-2660  
E-mail : kamo@ri2660.gr.jp